※令和４年度以降入学生用

学校番号	3012

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「国語表現」　（大修館書店）						
副教材等	「高校／基礎力 100%　漢字力トレーニング」（増進堂）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・国語を適切に表現する能力や的確に理解する能力を磨き、伝え合う力を高めること。
・さまざまな文章を読んで、思考力を伸ばし心情を豊かにし、国語への興味関心を高めること。
・プリント等の学習課題に関しては真面目に取り組み、提出期限を必ず守ること。
・話し合いや意見の発表に対して積極的に取り組むこと。

2　学習の到達目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成することを目指す。
(1) 伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、国語を尊重してその向上を図る態度を育む。
(2) 生涯にわたる社会生活に必要な知識や技能を向上させ、他者の意見を尊重し、自分自身の考えを表現する力を育む。
(3) 言葉が持つ価値への認識を深め、興味関心を持って言語文化を学ぼうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な知識や技能を向上させるとともに、言葉が持つ価値への認識を深めている。	「話すこと」、「書くこと」の領域において、目的や、場に応じて適切な表現技法を用いて自分自身の意見を述べることができる。 また、「書くこと」、「読むこと」の領域において、論理的な文章を読み取り、その要旨を踏まえた上で自分の意見を深め、表現することができる。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方、考え方を深めている。また、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、自己を客観的に分析し、向上心を持って取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	表現力を培う ［教材］ 『自己 PR と面接』 （国語表現）	a：基本的な表記のきまりや正しい言葉の用い方を理解している。 b[　書　]：表記等が整った文章を書くことができる。場面に応じた適切な言葉を使って文章を書き、発表することができる。 c：積極的に発表を行っている。他者の発表を聞き、その中の優れた表現を自分の意見に反映させようとしている。	定期考査	定期考査 授業態度 課題の提出	授業態度 発表 課題の提出
	国語常識 「高校／基礎力 100％　漢字力トレーニング」	a：漢字の読み書きと語句の意味について正しく理解している。 b[　]： c：言語表現に興味を示し、意欲的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト		課題の提出
二学期	表現力を培う ［教材］ 『メディアを駆使する』 『会議・議論・発表』 （国語表現）	a：コミュニケーションの基礎的な知識を理解し、目的に応じて活用することができる。 b[　話／聞　]：聞き手によって適切な表現を用いて自分の意見を伝えることができる。他者の話を聞き、その意見を正確に理解することができる。 c：積極的に発表を行っている。他者の話を聞き、その中の優れた表現を自分の意見に反映させようとしている。	定期考査	定期考査 授業態度 課題の提出	授業態度 発表 課題の提出
	国語常識 「高校／基礎力 100％　漢字力トレーニング」	a：漢字の読み書きと語句の意味について正しく理解している。 b[　]： c：言語表現に興味を示し、意欲的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト		課題の提出
三学期	表現を楽しむ ［教材］ 『エッセイを書こう』 （国語表現）	a表現技法の効果を理解し、適切に用いることができる。 b[　書　]：自分の意見を明確にして、表現を工夫することができる。 c：積極的に発表を行っている。他者のエッセイを読み、優れた表現を取り入れ推敲を行っている。	定期考査	定期考査 授業態度 課題の提出	授業態度 発表 課題の提出
	国語常識 「高校／基礎力 100％　漢字力トレーニング」	a：漢字の読み書きと語句の意味について正しく理解している。 b[　]： c：言語表現に興味を示し、意欲的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト		課題の提出

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　５０　）時間